

機能操作ガイド

Arcserve® Backup r16.5

データ デデュプリケーション デバイスの作成

データ 2013 年 4 月

Arcserve Japan

arcserve®

データ デデュプリケーション デバイス とは

データ デデュプリケーション デバイスは、デデュプリケーション バックアップを行うための専用のディスク デバイスです。前述のように、デデュプリケーションは、バックアップ時にデータの重複するブロックやファイルを排除します。これにより、バックアップ量の増加を抑え、バックアップの保持期間を延長し、データ回復の高速化を実現するテクノロジーです。

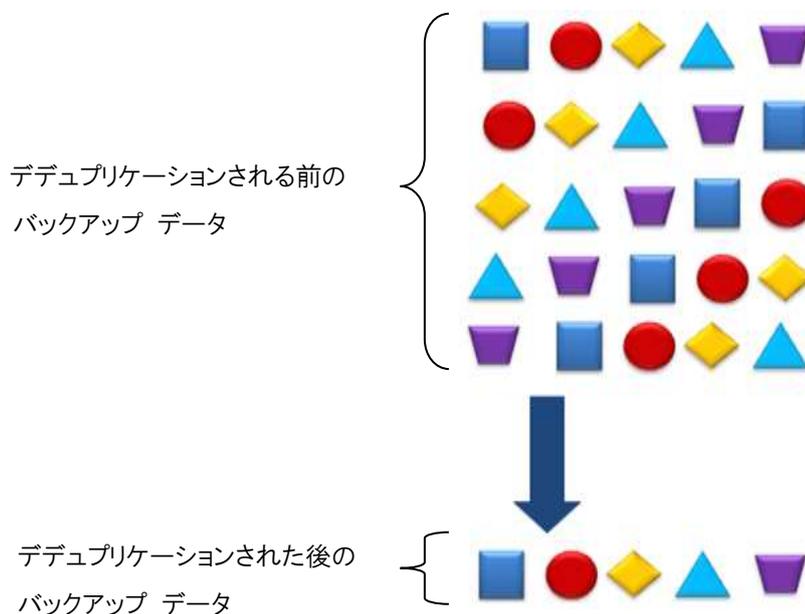
データ デデュプリケーションの動作

デデュプリケーション バックアップでは、以下のプロセスが実行されます。

1. バックアップ データをスキャンして「チャンク」(塊) に分割します。
2. 各チャンクに一意的な値を割り当て、インデックス ファイルを作成します。
3. 分割された各チャンクの値を、インデックス ファイルを使って比較します。
4. 重複が見つかった場合は該当するチャンクを1つだけバックアップし、その他のチャンクは破棄され、バックアップしたチャンクの格納場所を示すポインタの情報がインデックス ファイルに追加されます。

以下は、デデュプリケーションされる前のバックアップ データと、デデュプリケーションされた後のバックアップ データのそれぞれを比較したイメージ図です。

デデュプリケーションされる前よりもデデュプリケーションされた後の方が、バックアップ データの数が少なくなっています。



注：データ デデュプリケーションの詳細については、管理者ガイド「第 12 章：デデュプリケーションの使用」を参照してください。

『CA ARCserve Backup for Windows 管理者ガイド』

http://support.ca.com/cadocs/0/CA%20ARCserve%20Backup%20r16%205-JPN/Bookshelf_Files/PDF/AB_ADMIN_W_JPN.pdf

データ デデュプリケーションの設定方法

1. [スタート] メニューから [プログラム] - [CA] - [ARCserve Backup] - [マネージャ] を選択します。
2. [クイック スタート] メニューから [管理] - [デバイス マネージャ] を選択します。
3. [デバイス管理] 画面の左ペインのサーバで、データ デデュプリケーション デバイスを作成する Arcserve Backup サーバを選択し、ツールバーの [デバイスの作成] または右下ペインから [ディスク ベース デバイスの作成] メニューを選択します。
4. [ディスク ベース デバイス 環境設定] 画面の [デデュプリケーション デバイス] を選択し、[追加] ボタンをクリックして新しいデデュプリケーション デバイスを作成します。
5. [デバイス名] の列で選択されているデデュプリケーション デバイスをクリックし、必要に応じてデバイス名を修正します。
6. [詳細] の列に識別しやすいように任意のコメントを記入します。
7. [データ ファイルの場所] の列にロケーション（フォルダのパス名）を入力します。
8. ロケーションには、ネットワーク上の共有フォルダを指定することも可能です。この場合、[セキュリティ] ボタンをクリックして、指定した共有フォルダに対してフル コントロールのアクセス権限があるユーザ名、ドメイン（リモートのサーバ名）、パスワードを入力後、[OK] ボタンをクリックします。
ロケーションで指定したパス名が自動で UNC 名に変換されます。
9. [インデックス ファイルの場所] の列にロケーション（フォルダのパス名）を入力して [次へ] ボタンをクリックします。
10. 画面で内容を確認し、[完了] をクリックして環境設定を終了します。



注意事項

- ・ データ デデュプリケーション デバイスをステージング デバイス、または最終的なデスティネーション デバイス、またはその両方として指定できます。ただし、ステージング デスティネーションと最終的なデスティネーションの両方に対して同じデデュプリケーション デバイスを指定することはできません。
- ・ 前回のバックアップ以降に変更されたファイルに対してのみデデュプリケーションを実行することによって、データ デデュプリケーションを最適化してスループット向上させることができます。ただし、最適化できないストリームベースのファイル（SQL、SharePoint、Exchange、Oracle のデータなど）は除きます。最適化はデフォルトで有効になっています。
- ・ デデュプリケーション デバイスは NTFS ボリュームでのみ作成できます。
- ・ デデュプリケーション デバイスでは暗号化や圧縮は使用できません。
- ・ デデュプリケーション デバイスを使用した場合は最終的なデスティネーションのパージ ポリシーを指定できます。
- ・ フル、増分、差分のバックアップ先がすべて同じデデュプリケーション デバイスに対して GFS ローテーションを指定することができます。

製品情報

Arcserve シリーズ 総合情報サイト

<http://www.arcserve.com/jp/>

Arcserve Backup 製品情報

<http://www.arcserve.com/jp/products/ca-arcserve-backup.aspx>

Arcserve Backup データ デデュプリケーション特集

<http://www.arcserve.com/jp/lpg/japan-marketing/backup-data-reduction.aspx>

テクニカルサポート: Arcserve Backup r16.5 for Windows

<http://www.casupport.jp/resources/bab165win/>

Arcserve r16.5 シリーズ 無償トライアル申し込みサイト

<http://www.arcserve.com/jp/products/trials.aspx>

Copyright © 2014 Arcserve. All rights reserved. Microsoft、Windows は、米国またはその他の国、あるいはその両方における Microsoft Corporation の商標です。本書で参照するその他すべての商標、商号、サービス マーク、およびロゴは、それぞれの会社に属します。

本書は情報提供のみを目的としています。Arcserve は本情報の正確性または完全性に対して一切の責任を負いません。Arcserve は、該当する法律が許す範囲で、いかなる種類の保証（商品性、特定の目的に対する適合性または非侵害に関する黙示の保証を含みます（ただし、これに限定されません））も伴わずに、このドキュメントを「現状有姿で」提供します。Arcserve は、利益損失、投資損失、事業中断、営業権の喪失、またはデータの喪失など（ただし、これに限定されません）、このドキュメントに関連する直接損害または間接損害については、Arcserve がその損害の可能性の通知を明示的に受けていた場合であっても一切の責任を負いません。